

第10回 大館市バリアフリーまちづくり 推進協議会 説明資料

協議検討事項

1. 特定事業計画の進捗状況について ……(資料1)(資料2)(資料3)
2. 共生社会参加モデル施設のモデル事業について ……(資料1)

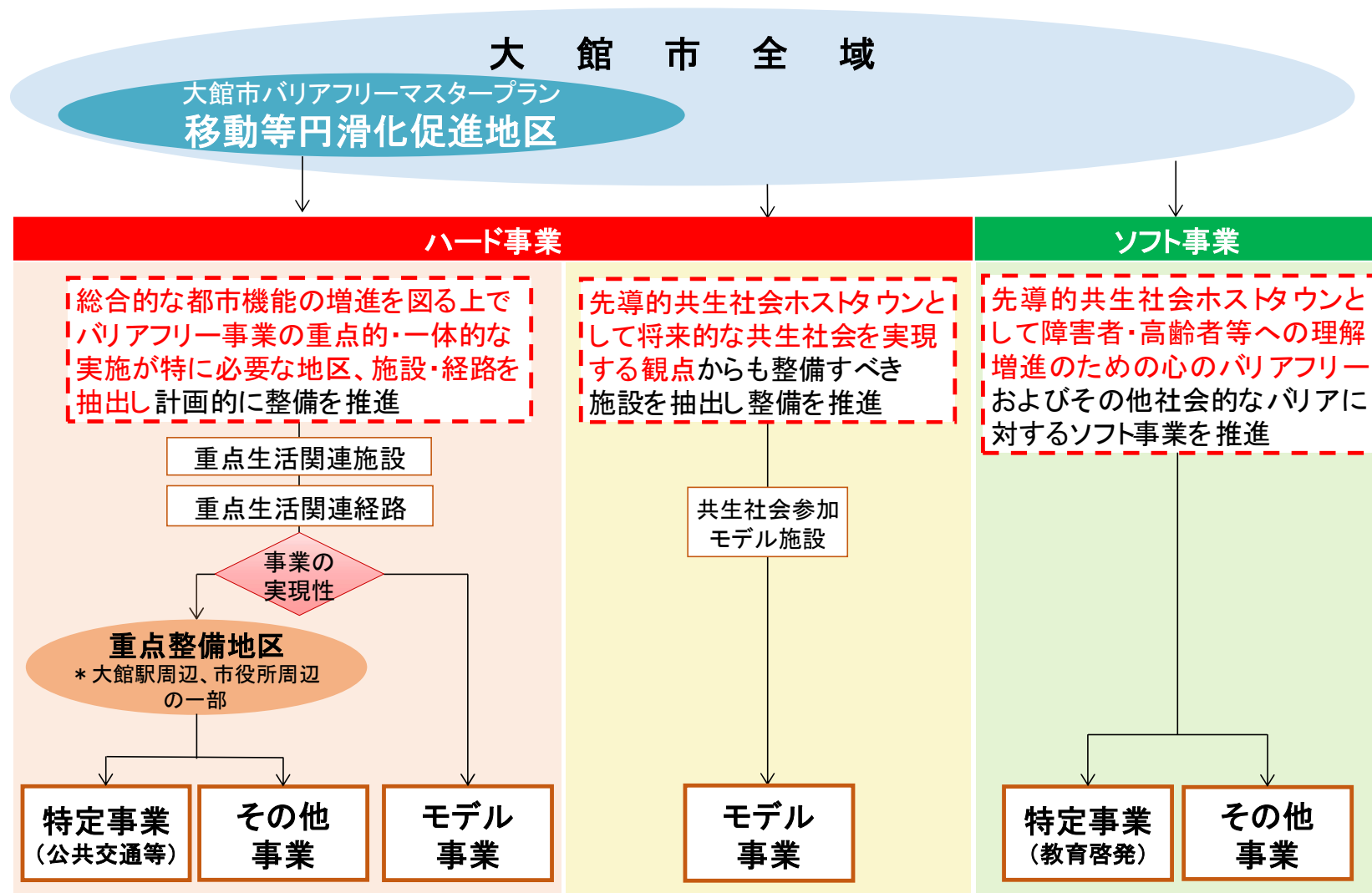
報告事項

1. バリアフリーに関する取り組みについて ……(資料1)
 - ①バリアフリーに関する主な取り組み(福祉課)
 - ②バリアフリーに関する主な取り組み(スポーツ振興課)
 - ③公共交通による移動等円滑化の取り組みについて(都市計画課)
 - ④大館市まちなか店舗等バリアフリー改修促進事業について ……(資料4)

2. その他

東北大学公共政策大学院からの提言(スポーツ振興課)

令和3年度策定 バリアフリー基本構想について



■公共交通特定事業

施策	対象	事業者	目標時期			継続実施
			短期	中期	長期	
駅舎のバリアフリー整備	JR大館駅	東日本旅客鉄道(株)	○			

■道路特定事業

施策	対象	事業者	目標時期			継続実施
			短期	中期	長期	
歩行空間の改善	大館駅東大館線	大館市土木課	協議 検討			
	【御成1丁目～清水1丁目】					
歩行空間の改善	大館駅東大館線	大館市土木課	協議検討			
	【中道1丁目～豊町】					

■交通安全特定事業

施策	対象	事業者	目標時期			継続実施
			短期	中期	長期	
道路環境の改善	市内	公安委員会(大館警察署)				○

■教育啓発特定事業

施策	対象	事業者	目標時期			継続実施
			短期	中期	長期	
駅員・乗務員のバリアフリー教育の推進	社員	東日本旅客鉄道(株)				○
バリアフリー教室の開催	市内小学校	大館市学校教育課				○
障害者差別解消のための普及啓発活動の実施	市内	大館市福祉課				○
朗読ボランティア・手話点訳者等の普及啓発	市内	大館市福祉課				○
障害者スポーツを通じた障害者への理解増進と障害者の社会参加の促進	市内	大館市スポーツ振興課				○

特定事業計画の進捗状況について(資料3参照)

- ・特定事業計画(ハード事業)14事業のうち、完了した事業は50%。
事業を着手し実施中の事業は5件。
- ・特定事業計画(ソフト事業)は、すべての事業が継続的に実施している。

<事業種別の進捗状況>

特定事業計画(ハード事業)

令和6年2月16日時点

特定事業計画 (ハード事業)		事業数			
			完了	実施中	未着手
公共交通		11	7 (0)	4 (11)	0 (0)
道路		3	0 (0)	1 (0)	2 (3)
合計	件数	14	7 (0)	5 (11)	2 (3)
	進捗率		50% (0%)		

※カッコ内は令和4年度末時点

特定事業計画(ソフト事業)

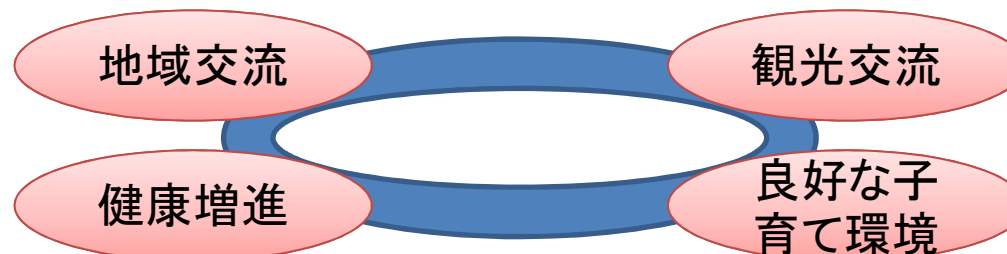
令和6年2月16日時点

特定事業計画 (ソフト事業)		事業数		
			継続実施中	
交通安全		1	1 (1)	
教育啓発		6	6 (6)	
合計	件数	7	7 (7)	
	実施率		100% (100%)	

※カッコ内は令和4年度末時点

○共生社会参加モデル施設

先導的共生社会ホストタウンとして、共生社会実現のために、高齢者、障害者及び妊婦等の社会参加の促進に特に重要な施設を「地域交流の促進」、「観光交流の促進」、「子育てしやすい環境づくり」、「健康増進」の観点から抽出しました。



○モデル事業

共生社会実現のために社会参加しやすい環境づくりを推進していくための共生社会参加モデル施設等のバリアフリー化の検討事業

地域交流

市民文化会館
市立中央公民館
北地区コミュニティセンター
市立田代公民館

観光交流

秋田犬の里
石田ローズガーデン
道の駅ひない

良好な子育て環境

桂城公園
ニツ山総合公園
扇田ふれあい公園
大館樹海ドームパーク
(パークセンター)
市民交流センター
市立栗盛記念図書館

健康増進

樹海体育館
大館樹海ドームパーク
(大館樹海ドーム)
長根山運動公園
高館公園
田代スポーツ公園
達子森公園
花岡総合スポーツ公園

共生社会参加モデル施設のバリアフリー化整備検討状況について

■地域交流拠点のバリアフリー化

対象施設	事業者	障害者用駐車区画の整備	点字案内表示の設置	その他検討事項
市民文化会館	生涯学習課	整備済み(中央公民館と共用)	未定	・エレベータ設置 ・舞台上への手摺り設置及び移設式スロープの購入(R5) ・車いす専用駐車場整備(中央公民館側にもあるが、文化会館側に要望あり)
市立中央公民館	生涯学習課 中央公民館	屋根付き5台分あり	未定(別館に点字ブロックあり)	玄関前階段に手摺取付検討中 (建物修繕と併せて検討中。R6予算措置なし)
北地区コミュニティセンター		1台分あり	未定	未定
市立田代公民館		1台分あり	未定	大規模改修時に検討する

■子育て世帯の利用する施設のバリアフリー化

対象施設	事業者	障害者用駐車区画の整備	車いす用トイレの整備	トイレまでの経路バリアフリー化	その他検討事項
桂城公園	都市計画課	整備予定(本庁舎と共用)	桂城公園修景整備と併せて検討予定	桂城公園修景整備と併せて検討予定	未定
二ツ山総合公園	スポーツ振興課	整備済み	整備済み	未定	未定
扇田ふれあい公園		未定	未定	未定	未定
大館樹海ドームパーク (パークセンター)	子ども課 ※R4.4から	R5.12.28 カーポート 2台用を3基設置(うち、1台分 障害者用区画)	1か所設置済	通路に手すり設置済	未定
市民交流センター	生涯学習課 中央公民館	未定	未定	未定	玄関前階段に手摺取付検討中 (施設係と実施時期について検討中)
市立栗盛記念図書館	生涯学習課	整備済	整備済	多目的室側にみんなのトイレがあり経路は、バリアフリー化の整備済	・一般用エレベータの設置要望があるも予算化は未定。 ・誘導案内設備の整備(点字ブロック)

■観光交流拠点のバリアフリー化

対象施設	事業者	点字案内表示の設置	その他検討事項
秋田犬の里	観光課	未定	未定
石田ローズガーデン		未定	未定
道の駅ひない	比内総合支所	今後検討	今後検討

共生社会参加モデル施設のバリアフリー化整備検討状況について

■健康増進のための施設のバリアフリー化

対象施設	事業者	障害者用駐車区画の整備	車いす用トイレの整備	その他検討事項
樹海体育館	スポーツ振興課	整備済み	整備済み	未定
大館樹海ドームパーク (大館樹海ドーム)		整備済み	整備済み	未定
長根山運動公園		未定	整備済み	未定
高館公園		整備済み	整備済み	未定
田代スポーツ公園		整備済み	整備済み	未定
達子森公園		未定	整備済み(R4年度)	未定

■冬期のバリアフリー化の取り組み

対象施設	事業者	優先的な除排雪、横断歩道の見通しの確保等について、より重点的な実施を推進する	その他検討事項
重点生活関連経路	道路管理者	幹線市道及び通学路において実施中(市道大館駅東大館線、市道新町長根山線、市道有浦東台線)	

その他各所管施設のバリアフリー化整備検討状況について

その他各所管施設のバリアフリー化の取り組み

対象施設	事業者	その他検討事項
総合病院	総合病院総務課	障害者用洗面台設置(R6以降)
大館市立扇田病院	大館市立扇田病院	施設の老朽化が著しく総合的に判断しながら検討していく
田代総合支所庁舎	田代総合支所	屋外手すり新設工事(R02年度に取付済303,600円)
旧正札竹村	まちづくり課	バリアフリー化整備済み

①バリアフリーに関する主な取り組み(福祉課)

- (1)障がいを理解するためのガイドブックの作成
- (2)障がい者サポーター養成講座の開催
- (3)手話奉仕員養成講座等の開催
- (4)手話通訳を議会(行政報告)で実施
- (5)声の広報の配布

- 障がいの特性、障がいのある方との接し方や障がいに関するマーク、標識等の紹介など広く啓発、周知するために今年度作成。



(2)障がい者サポーター養成講座の開催

- 障がいのある方への理解の促進と適切な声掛けや見守り等の配慮が行えるようになることを目的に令和5年11月21日に開催。修了者80人。



(3)手話奉仕員養成講座等の開催

事業計画名		教育啓発特定事業計画				対象	市内	事業者	大館市福祉課
特定事業						特定事業計画			
番号	事業内容	継続 実施	目標時期			具体的な実施期間		特記事項 (実施に向けた課題・ 現在の状況等)	実施数
			短期 (R4-R8)	中期 (R9-R13)	長期 (R14-R18)	着手	完了		
①	障がい者 サポーター 養成講座の 実施	○				R4	(継続)	令和5年11月21日 (火) 中央公民館 修了者80人	毎年 1回 開催
②	手話奉仕員 養成講座 の開催	○				R4	(継続)	手話奉仕員養成講座 (入門課程)総合福祉 センター 毎週金曜日19時～2 1時 令和5年5月12日～9 月22日 全19回 修了者13人	年19回
事業実施箇所及び写真等(実施前後等)									
参考写真: 令和5年度障がい者サポーター養成講座 生涯学習フェスティバル(点字教室・手話講座) 令和5年9月23日、24日 中央公民館									
その他事業実施に際し配慮すべき事項									
・手話奉仕員養成講座については入門課程、基礎課程の2カ年実施で計画しているが、2年目の基礎課程に進む受講者が少ない傾向にある。 ・障がい者サポーター養成講座を修了しても、活動する機会が少ない。									



(4)手話通訳を議会（行政報告）で実施

「大館市手話言語の普及及びコミュニケーション手段の促進に関する条例」に基づく取り組みとして、定例議会初日の本会議で市長の行政報告について手話通訳を実施し、聴覚障がいのある方にも市政情報を発信した。



(5) 声の広報の配布

- 点字広報のほか、視覚障がいの方への広報内容の周知を図るため、**声**の広報を作成し、配布している(CD録音)。
- 作成は市内の大館市音声訳ボランティア「麦の会」にご協力いただいている。



②バリアフリーに関する主な取り組み(スポーツ振興課)

はちくんオープン

- ・ パラスポーツの理解や普及、障がい者の社会参加、スポーツを通じた共生社会への理解を高めることを目的に開催。
- ・ 第4回大会…令和5年11月25日～26日開催
(35チーム141人参加)
- ・ 第5回大会…令和6年11月23日～24日開催予定



●●deボッチャ

- ・ 働く世代へのボッチャの普及により、共生社会形成への理解を高める機会
- ・ 第1回交流会を2月21日(水) 駅なか交流センターで開催
- ・ 開催場所を変え定期的に開催予定

ユニバーサルマナーセミナー

令和6年2月17日開催

内容：セミナー講演 講師…田中利樹氏(株式会社ミライロ)
車いす体験会「チェア輪ピック」

共催：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

協力：秋田看護福祉大、秋田職業能力開発短期大学校

③公共交通による移動等円滑化の取り組み(都市計画課)

2023の具体的な取組

①mobiを育てる

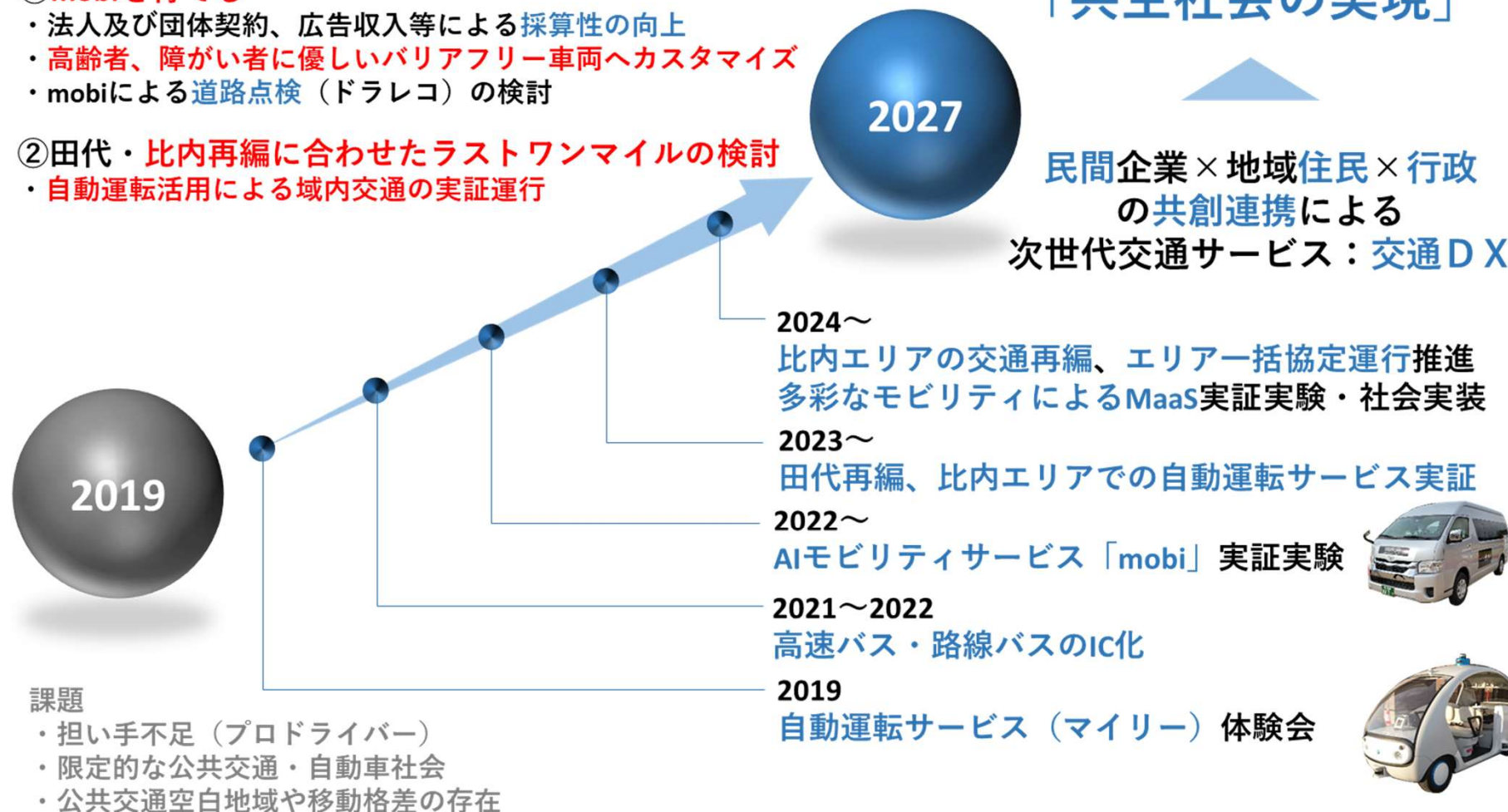
- ・法人及び団体契約、広告収入等による採算性の向上
- ・高齢者、障がい者に優しいバリアフリー車両へカスタマイズ
- ・mobiによる道路点検（ドラレコ）の検討

②田代・比内再編に合わせたラストワンマイルの検討

- ・自動運転活用による域内交通の実証運行

大館市の目指す
「共生社会の実現」

民間企業×地域住民×行政
の共創連携による
次世代交通サービス：交通DX



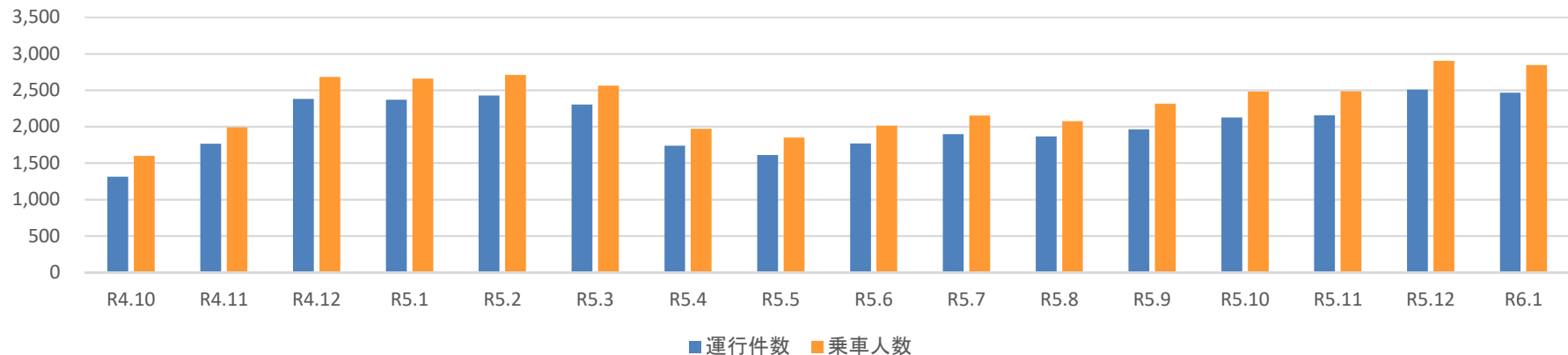
③公共交通による移動等円滑化の取り組み(都市計画課)

1. 大館版mobiプロジェクト

	項目	R5. 2. 28時点	R5. 6. 30時点	R6. 1. 31時点
登録状況	会員登録者数	938人	1,060人	1,524人
	30日間定額プラン登録者数	152人	73人	79人
	回数券購入者数	41人	28人	62人

	項目	R4. 10. 1～R5. 2. 28	R4. 10. 1～R5. 6. 30	R4. 10. 1～R6. 1. 31
利用状況	利用実人数	650人	849人	1,243人
	延べ乗車人数	11,638人	20,036人	37,286人
	1日平均乗車人数	77.1人	73.4人	76.4人
	運行件数	10,251件	17,670件	32,650件
	1日平均運行件数	67.9件	64.7件	66.9件

月別利用状況



③公共交通による移動等円滑化の取り組み(都市計画課)

1. 大館版mobiプロジェクト

高齢者を中心に、「ステップが高く乗降しづらい」との声が多数あり

令和5年10月より「手すり」と「電動ステップ」を装着して運行



③公共交通による移動等円滑化の取り組み(都市計画課)

2. 自動運転実証調査事業

■実験概要

運行期間	準備運行: 令和5年11月 1日～19日 一般試乗: 令和5年11月20日～30日
運行方法	定時定路線 ・ 事前予約制 ・ 無料
走行方法	レベル2 (運転席にドライバーが着席し、必要に応じ手動介入をする)

■実験車両



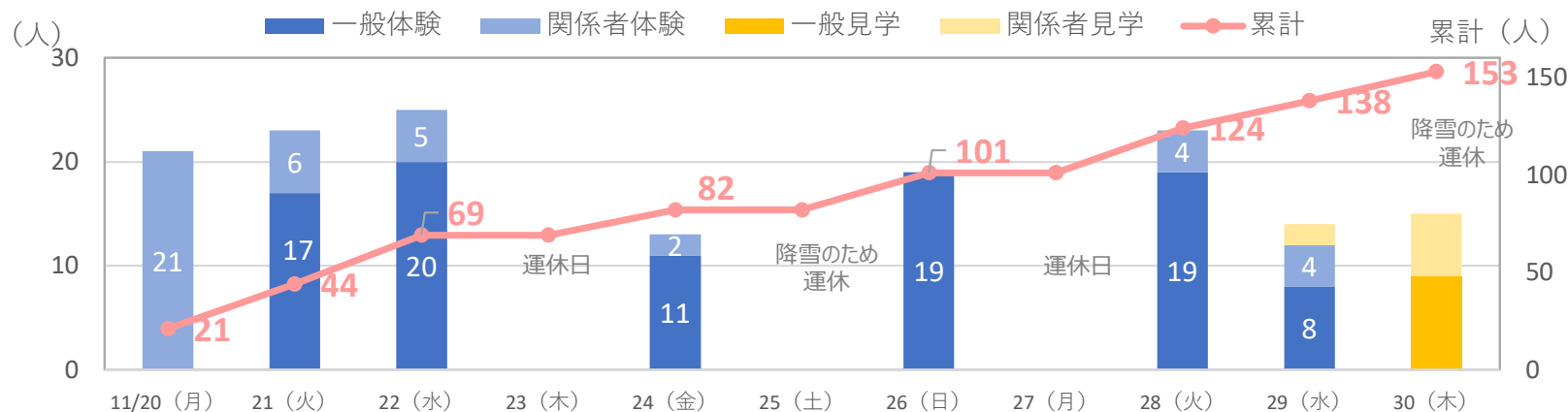
■実験ルート・運行本数



③公共交通による移動等円滑化の取り組み(都市計画課)

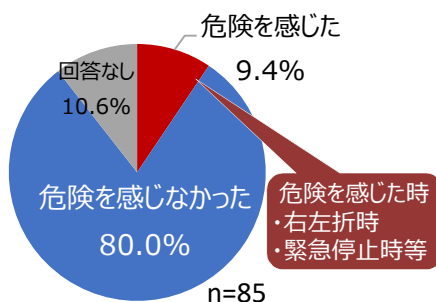
2. 自動運転実証調査事業

■実施日・参加者数

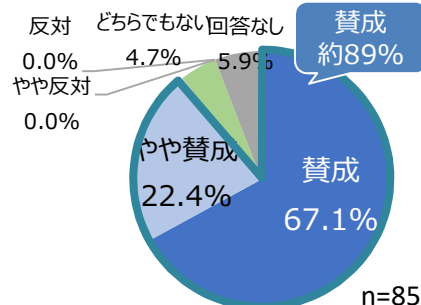


■体験者アンケート結果 (一部抜粋)

乗車中に危険を感じる場面はありましたか？



将来、自動運転を用いた公共交通に賛成ですか？



(一般試乗者コメント)

- ・将来の街を支える交通手段として期待したい。
- ・安全性への信頼がとても向上した。
- ・地域の足だけでなく、観光客の足になると可能性が広がる
- ・揺れが気になった。
- ・手動モードが長かった。
- ・まだ雨雪に弱い。

東北大学公共政策大学院からの提言(スポーツ振興課)

令和4年度 東北公共政策大学院の公共政策ワークショップにおいて「パラリンピックのレガシーとしてのダイバーシティ&インクルージョン都市の形成に向けた研究」を大館市をフィールドに実施。 25施策に関する提案があった。

UDのまちづくり

- ①BF化事業推進システムの形成
- ②ゼロ段差ブロックの設置
- ③スリット入り点字ブロックの設置
- ④歩行空間のバリアフリー状況報告システム
- ⑤障害者等用駐車区画の塗装やシートの貼り付け
- ⑥市役所の駐車場及び庁舎までの経路に関するUD化
- ⑦誰もが楽しめるインクルーシブな遊具の設置
- ⑧UDタクシーの導入
- ⑨BF情報発信アプリに市内のBF情報を提供
- ⑩Web版の「大館市バリアフリーマップ」を作成
- ⑪公共施設への簡易スロープの常備
- ⑫やさしい日本語とピクトグラム、CUDによる案内表示

心のバリアフリー

- ①福祉体験学習の充実
- ②正課ボッチャクラブ
- ③障がい者サポーター養成講座のブラッシュアップ
- ④D&I推進パートナー制度の創設
- ⑤グループミーティングの開催
- ⑥多文化共生意識調査

交流の機会の創出

- ①公共空間ボッチャ委員会の創設
- ②既存イベントと抱き合わせた形での体験会の開催
- ③観光施設「秋田犬の里」へのボッチャコートの常設
- ④異文化理解のための交流イベントの実施
- ⑤商業施設での福祉啓発イベントの開催及び福祉まるごと相談室の設置
- ⑥クワイエットアワーの実施
- ⑦ボッチャ体験会の継続的な開催(仙台市)

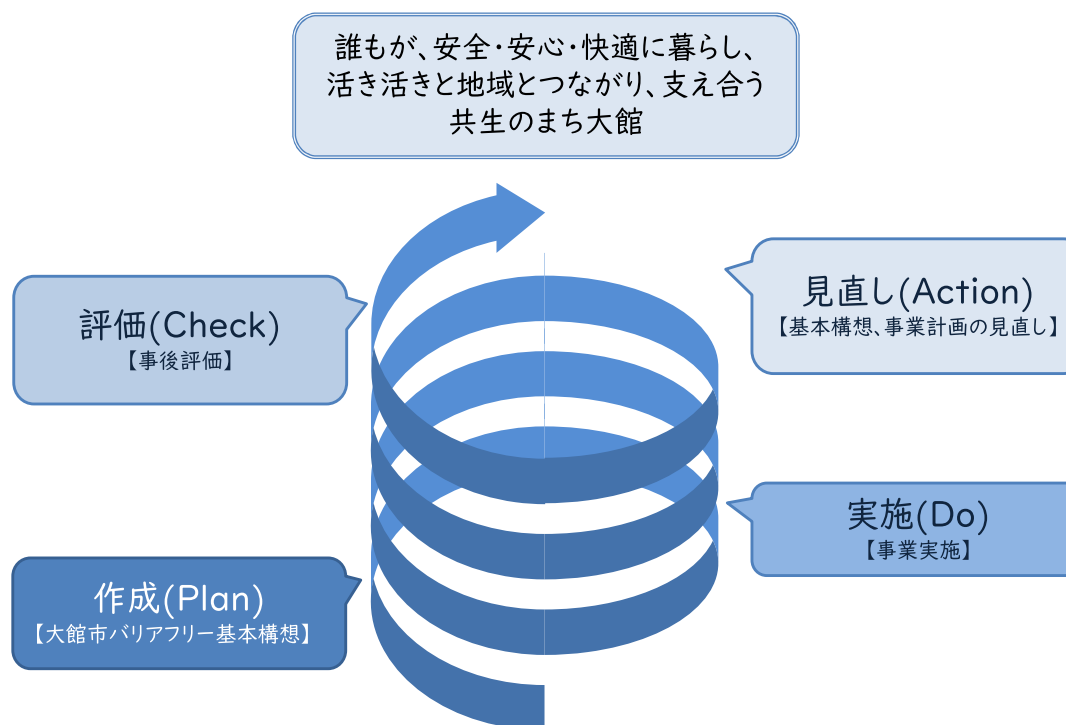
合計25施策!

3. 今後のスケジュール

31

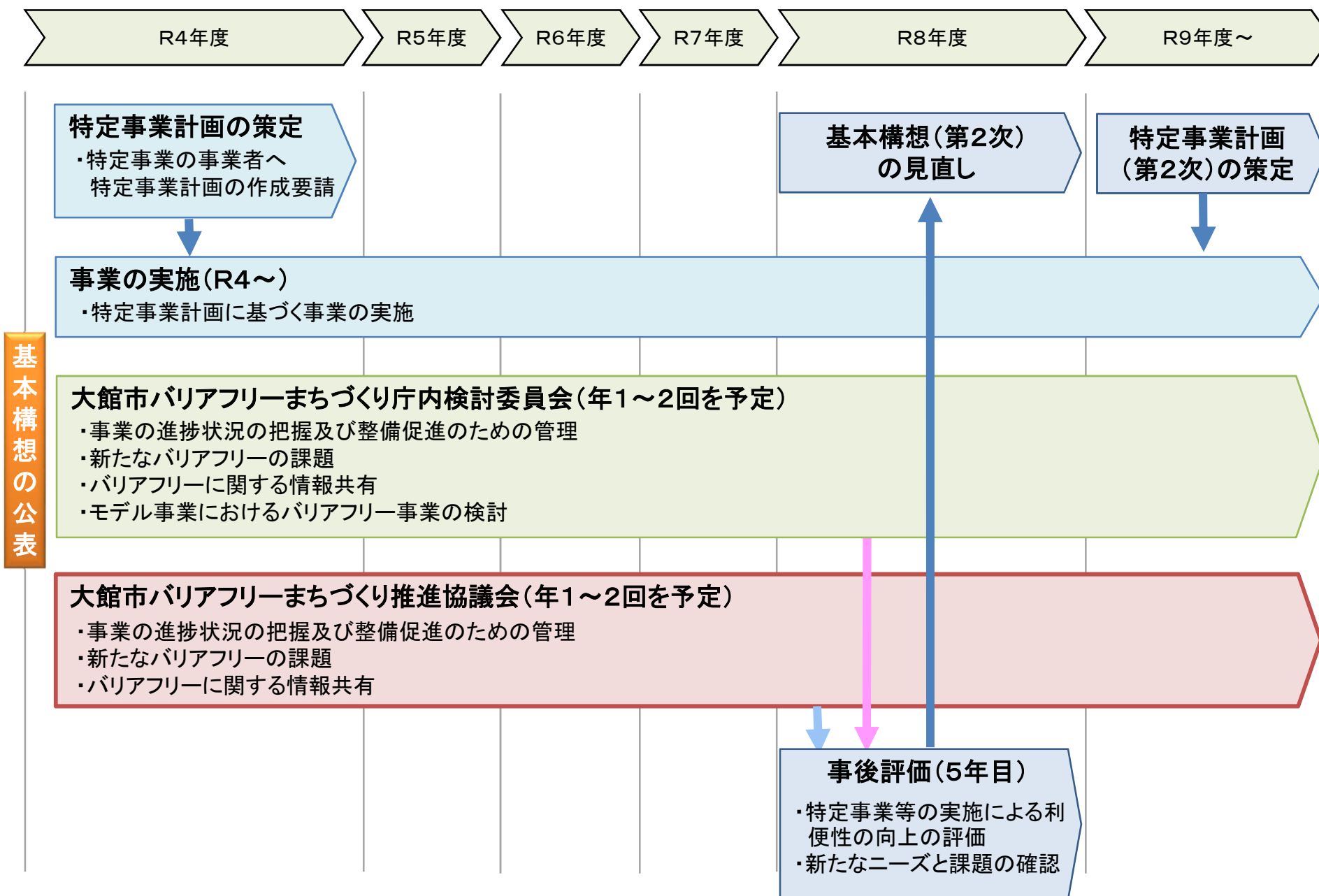
基本構想の策定後も下記のPDCAサイクルにより事業スケジュールの適切な管理と改善を図ることで、バリアフリー化を推進する。

- 基本構想策定後も継続的に「大館市バリアフリーまちづくり推進協議会」を開催し、取り組みの進捗管理や課題の洗い出し等の状況の共有と課題に対する改善案の検討を行う。
- 上位関連計画や関連するまちづくり事業の状況を踏まえ、必要に応じて基本構想の見直しを行う。
- 基本構想作成時に設置した協議会を進行管理を担う中心的な組織として位置づけ、特定事業計画で策定されたスケジュールと実際の進捗状況及び新たなバリアフリーの課題について把握し、整備促進のための管理を行う(年1～2回を予定)。
- 計画の最終年(5年目)には、特定事業等の実施により利便性が向上したかを評価するとともに、新たなニーズと課題の確認を行う事後評価を実施する。



3. 今後のスケジュール

32



特定事業計画の課題や現在の状況、配慮する事項について(資料3参照)

特定事業計画(ハード事業)

特定事業計画	事業内容	課題や現在の状況、配慮する事項
公共交通 特定事業計画	エレベーター設置	地中障害により事業の遅れ
	全体	駅舎整備完了と前後して、駅前広場整備が実施されるため勾配調整が必要
道路 特定事業計画	無電柱化	令和5年度 詳細設計業務の発注 令和6年度 支障物移転予定
	視覚障害者誘導用ブロックの設置	R6年3月発注予定 継続して実施予定
	歩道舗装の補修	R7年度以降施工予定

特定事業計画(ソフト事業)

特定事業計画	事業内容	課題や現在の状況、配慮する事項
教育啓発 特定事業計画	駅員・乗務員の バリアフリー教育の推進	駅で車いすや白杖をご利用のお客さま対応や、高齢者疑似体験等の勉強会の実施にあたり、お客さま視点に立ち、お客さまに不安や不便を与えないように努める。
	バリアフリー教室の開催 障害者の類似体験	学習時間の確保と実施までの準備など。
	障害者サポーター養成講座の実施	障害者サポーター養成講座を修了しても、活動する機会が少ない。
	手話奉仕員養成講座の開催	入門課程、基礎課程の2カ年実施で計画しているが、2年目の基礎課程に進む受講者が少ない傾向にある。